

東京ガス130年の歩み ～「競争と変革」の軌跡～

<130年の歩み>

- 1872年:ガス事業の始まりはガス灯(あかりから)
- 1885年:東京瓦斯会社の創立(初代社長:渋沢 栄一)

電気灯の登場、あかりから熱源へ

- 1902年:ガスかまど登場(家庭用)

世界初、LNG輸入開始

- 1988年:天然ガスへの熱量変更完了
- 2009年:家庭用燃料電池(エネファーム)販売開始

電力・ガス小売全面自由化

コージェネレーション
(ガスエンジン、タービン、
燃料電池)

ガス空調
(吸収式、ガスヒーポン)

産業用熱・生産用
(ボイラ・工業炉)

家庭用・業務用
(厨房・暖房・給湯)



ガス灯

都市ガスの用途拡大(機器開発+使い方提案)

明治

大正

昭和

平成

1900

1950

2000(年)

《都市ガス原料》 石炭

石油

LNG